

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月26日

【評価実施概要】

事業所番号	0370900540		
法人名	医療法人 あけぼの会		
事業所名	グループホーム さくらのいえ		
所在地	岩手県一関市三関字日照77-2 (電 話) 0191-31-8301		
評価機関名	財団法人 岩手県長寿社会振興財団		
所在地	岩手県盛岡市本町通3-19-1		
訪問調査日	平成20年11月11日	評価確定日	平成20年12月26日

【情報提供票より】(20年 9月 22日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成	16年 1月 10日
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計 9 人
職員数	10 人	常勤 2人, 非常勤 8人, 常勤換算 6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	1 階建ての	1 階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,500 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	200 円	昼食 350 円
	夕食	350 円	おやつ 円
	または1日当たり 900 円		

(4) 利用者の概要(9月 22日現在)

利用者人数	9名	男性 2名	女性 7名
要介護1	5名	要介護2	名
要介護3	3名	要介護4	名
要介護5	1名	要支援2	名
年齢	平均 83歳	最低 65歳	最高 91歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	阿部内科クリニック、西城病院
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「さくらのいえ」は、一関市郊外の住宅地に設立され、地元の温かい見守りや声かけがあり、地域の協力体制が厚い。母体法人の理事長が内科医でもあり、毎月往診してもらっており、同法人の病院の栄養士による栄養指導が行われている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価において、特に改善課題は無かった。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員皆で各項目を評価しており、その意義を考えている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議のメンバーには、民生委員や保護司等が入って幅広い話し合いが行われている。また、区長等の理解もあり、地元協力隊の名簿作成等有意義な指導を受けており、面会の少ない利用者の方に家族の代理で手紙や面会をしている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	面会時に話し合いを持つようにしており、意見が聞かれる場合は職員と話し合いを持ち、速やかに改善等に取り組み、「相談・苦情申立書兼内容記録票」を作成している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目④	地元幼稚園との交流やお茶を勧めてもらったり、地域の方からは柿を取りに来るよう誘われており、温かい交流ができています。また、利用者を助けるための「協力隊」を結成しようとしている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者の主体性を大切にしている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を大きな声で唱和している。職員からは率直に意見を話してもらい、担当職員を中心として利用者の希望を聞いたり、表情から汲み取ったり、カンファレンスの中で話し合いを持っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	幼稚園との交流を積極的に行っている。また、近隣の方に声をかけてもらって柿採りをしたり、お茶の誘いを受けたりしている。地区の敬老会等へも参加し、温かな交流が持たれている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	第三者評価者を講師に招き、職員全員で研修を行っている。また、自分で考えて仕事をするように気をつけている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	参加者が意欲的であり、会議が深まっている。民生委員や保護司、区長等が参加しており、理解も深く、情報提供や相談にのってもらっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者には書類を直接手渡しで届けながら、疑問に思っていることや他のグループホームの取り組み状況を聞く事ができており、親切に答えてもらっている。コミュニケーションを大事にするよう努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月に1度、お便りと写真、一言コメントで報告しており、1ヶ月の行事予定や日常の様子を伝えている。また、電話でも報告されている。金銭の管理については「個人別出納帳」を職員が記帳し、領収書等を家族に確認してもらっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	「相談・苦情申立書兼内容記録票」に相談・苦情を記録されており、家族の意見が反映されるよう取り組みがなされている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	昨年、職員の退職があったが、現在はより信頼できる関係を築いている。新しい職員との出会いを大切にしていきたいと、前向きに捉えている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部へ研修に行ったときの復命書を確認し、内部で開催された研修会記録を確認した。職員も資格習得に向け励んでいる。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	毎年、特別養護老人ホームや老人保健施設、デイサービスと桃狩りやさくらんぼ狩りをしている他、デイサービスから神楽等の誘いを受けている。他のグループホームとの交換研修等も有意義なことと思われる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		○馴染みながらのサービス利用			
12	26	本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	職員が面会に行き、本人の状態を確認している。家族と見学に来てもらっているほか、宿泊体験が可能である。家族も1週間くらい一緒に利用してもらったことがある。また、「施設介護支援経過」の記録で実施内容を確認した。		
		○本人と共に過ごし支えあう関係			
13	27	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員の帰りの際には利用者が見送ってくれたり、夜勤者には「何かあったらごさいよ」と温かい言葉をかけてくれている。職員は利用者のプライドを尊重した援助を心がけており、利用者からは職員を心配してくれていると感じている。		
		○思いや意向の把握			
14	33	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の日常の様子や言葉から希望や思いを把握できるよう援助している		
		○チームでつくる利用者本位の介護計画			
15	36	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	「基本情報」「入所申込相談受付票」「居住サービス計画書」で実施内容を確認した。		
		○現状に即した介護計画の見直し			
16	37	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアの見直しなどが発生した場合は、1日1枚作成して、1週間毎に見直し、「介護計画・申し合わせ事項」(ケース記録)に記入しており、職員が確認しやすいよう工夫されている。		